

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ・満期保有目的の債券等一償却原価法(定額法)
 - ・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ・建物並びに器具及び備品一定額法
 - ・リース資産
 - 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金一全国社会福祉団体職員退職手当積立金
 - ・賞与引当金 ー

3. 重要な会計方針の変更

該当事項なし

4. 法人で採用する退職給付制度

全国社会福祉協議会 全国団体職員退職手当
独立行政法人 福祉医療機構 退職手当共済

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の財務諸表(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
- (4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)

当法人では、収益事業を実施していないため作成していない。

- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	1,000,000			1,000,000
建物	399,464,201		21,381,740	378,082,461
合計	400,464,201		21,381,740	379,082,461

7. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

本郷保育園園舎の減価償却に伴い国庫補助金等特別積立金4,074,016円を取り崩した。

財務諸表に対する注記

大堰保育園園舎の減価償却に伴い国庫補助金等特別積立金665,473円を取り崩した。

8. 担保に供している資産

該当なし

	円
計	円

該当なし

	円
計	円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(单位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	341,260	341,258	2
構築物	35,629,131	8,249,240	27,379,891
機械及び装置	971,244	738,553	232,691
車輛運搬具	29,326,411	8,002,358	21,324,053
器具及び備品	57,260,541	38,612,048	18,648,493
建物附属設備	19,760,847	6,519,435	13,241,412
合計	143,289,434	62,462,892	80,826,542

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

該当事項なし

(单位: 円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
合計			

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

(単位:円)

[illegible]

財務諸表に対する注記

13. 重要な偶発債務

該当事項なし

14. 重要な後発事象

該当事項なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当事項なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当事項なし